

# イーストスプリング・ アジア・インカム・プラス 【愛称:アジアンドリーム】

## 追加型投信／海外／資産複合

第113期(決算日 2016年9月15日)  
 第114期(決算日 2016年10月17日)  
 第115期(決算日 2016年11月15日)  
 第116期(決算日 2016年12月15日)  
 第117期(決算日 2017年1月16日)  
 第118期(決算日 2017年2月15日)

作成対象期間(2016年8月16日～2017年2月15日)

第118期末(2017年2月15日)	
基準価額	8,491円
純資産総額	217百万円
第113期～第118期 (2016年8月16日～2017年2月15日)	
騰落率	7.8%
分配金合計	90円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インカム・プラス」は、2017年2月15日に決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券および株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### <閲覧方法>

右記【お問い合わせ先】ホームページアドレスにアクセス⇒  
 上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを  
 表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を  
 選択

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

### 【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

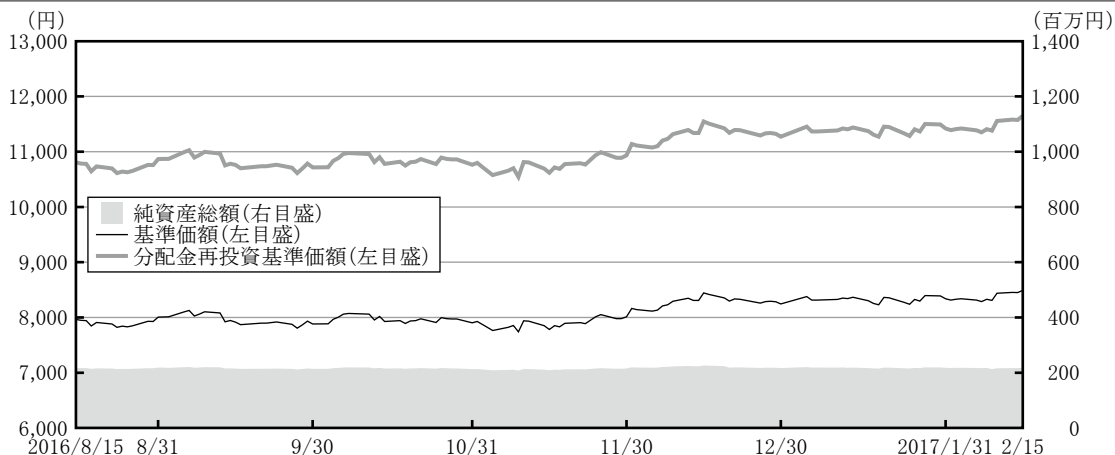
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

### 基準価額等の推移について(第113期～第118期:2016年8月16日から2017年2月15日まで)



第113期首	7,963円
第118期末	8,491円(既払分配金90円)
騰落率	7.8%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の前半は、米国の金融政策を巡る不透明感や2016年11月の米国大統領選挙を前にしたアジアの債券、株式市場がともに小動きとなり、為替市場もほぼ横ばいで推移したため、当ファンドの基準価額は狭い値幅での推移となりました。米国大統領選挙後はトランプ新政権の政策による成長期待を背景に米金利が上昇したことから、アジアの債券、株式市場ともに下落しました。しかし、為替市場において円安が大幅に進行したため、基準価額は期末にかけて上昇し、当作成期初比でも上昇しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第113期～第118期 2016/8/16 ～2017/2/15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	54円	0.670%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,064円です。
(投信会社)	(22)	(0.272)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(31)	(0.381)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	( 4)	(0.050)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用(マイナス金利相当額)
合計	58	0.720	

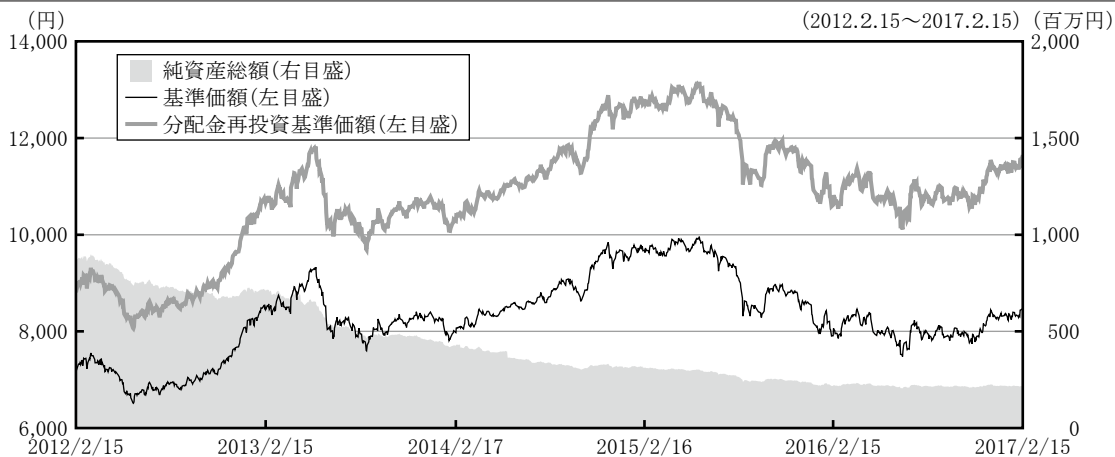
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日	2012/2/15	2013/2/15	2014/2/17	2015/2/16	2016/2/15	2017/2/15
基準価額 (円)	7,158	8,452	7,976	9,679	7,911	8,491
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	21.0	△3.6	23.8	△16.6	9.7
純資産総額 (百万円)	863	710	426	312	217	217

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 投資環境について

### ○海外債券市況

アジア債券市場は当作成期初から米国の金融政策を巡る不透明感や2016年11月の米国大統領選挙を前にして小動きとなりました。しかし、米国大統領選挙後は新政権による政策期待から米国債の利回りが急上昇(価格は下落)し、米国債と連動性の高いシンガポール、韓国などの国債利回りは大幅に上昇しました。また、外国人投資家の投資比率の高いインドネシア、マレーシアなどは通貨が対米ドルで大幅安となったため、債券売りが加速しました。一方、インドは高額紙幣廃止を受けて急増した銀行の手元資金が債券市場に流入したため、国債利回りは急低下(価格は上昇)しました。12月中旬以降は米国債の利回り上昇に一服感がみられ、アジアの債券市場もインドを除き当作成期末にかけて落ち着いた動きとなりました。インドは2017年2月の金融政策決定会合で利下げを見送ったため利回りは大幅上昇(価格は下落)となりました。

### ○海外株式市況

アジア株式市場は、米国の金融政策や米国大統領選挙などの影響を受けました。当作成期初から2016年10月にかけては米国の利上げ時期を見極めたいとの見方から株式市場は概ね横ばいで推移しました。11月の米国大統領選挙後は、米国債の利回りが急上昇したことを背景にアジア新興国からの資金流出懸念が高まり、株式市場も調整しました。その後は持ち直しを見せましたが、12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)において2017年の利上げ回数予想が引き上げられたことを受けて再度下落しました。12月末から当作成期末にかけては、アジア新興国からの資金流出懸念が一巡したことや、米国新政権への期待感から米国の株式市場が堅調に推移したことを受けて、アジアの株式市場も反発しました。

### ○為替市況

米国の金利先高感から米ドルが堅調となったため、アジア通貨は概ね対米ドルで弱含みとなりました。特に米国大統領選挙後は新政権の政策期待から米国債利回りが大幅上昇し米ドル高が進行したため、アジア通貨は対米ドルで下落しました。一方、大幅な円安を背景にすべてのアジア通貨は対円で上昇しました。特にインドルピー、インドネシアルピアなどが堅調となりましたが、マレーシアリングgitは小幅の上昇にとどまりました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド クラスJ」(以下「アジアン・エクイティ」と言うことがあります。))を通じてアジア株式に3割程度の投資を行いました。

### ○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジアの政府、政府機関および国際機関の発行する現地通貨建債券に投資を行い、安定的な利子収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。当作成期は、租税恩赦法施行後、海外からの資金還流期待から通貨ルピアが堅調となったインドネシアの債券の保有が最もプラスに寄与した一方で、海外投資家による資金流出を背景にパフォーマンスが振るわなかったマレーシアの債券の保有は小幅なプラスにとどまりました。

### ○アジアン・エクイティ

当作成期の投資行動としては、ポートフォリオの特性を大きく変更するような銘柄の入れ替えは行いませんでした。国・地域別のパフォーマンスでは、主要企業の業績見通しの改善を背景に上昇した台湾、経済指標の改善や資源・素材価格の上昇が好感された中国などの株式の保有がプラスに寄与しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2016年8月16日 ～2016年9月15日	2016年9月16日 ～2016年10月17日	2016年10月18日 ～2016年11月15日	2016年11月16日 ～2016年12月15日	2016年12月16日 ～2017年1月16日	2017年1月17日 ～2017年2月15日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	0.189	0.189	0.192	0.177	0.180	0.176
当期の収益 (円)	8	14	9	15	8	15
当期の収益以外 (円)	6	0	5	—	6	—
翌期繰越分配対象額 (円)	132	131	126	132	126	132

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

原則として基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「アジア・エクイティ」を通じてアジア株式に3割程度の投資を行っていく予定です。また、当ファンドは3月15日に信託期間が満了となりますので、信託終了日に向けての対応を行ってまいります。

### ○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

2016年の年末以来、米国大統領の政策期待を背景とした米国の株高、債券安、通貨高の動きに一服感が見られ、市場のセンチメントは概ね落ち着いたものとなっています。米国の金融政策には注意が必要ですが、アジアも含めた中央銀行による緩和的な金融政策が維持される中で、今後しばらくはリスク選好姿勢が持続し、アジアの金利水準は低位で推移するとみています。一方で、市場の変動性は中国の景気先行き懸念や今後の欧州情勢などを材料に高まる可能性があります。世界的に穏やかな経済成長と低インフレの環境下では債券市場におけるリスクは限定的であり、市場の調整局面では割安な水準で債券を組み入れる好機と考えています。

「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」は当ファンドの信託期間の満了に

伴い、イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の全解約を予定しており、順次対応を行ってまいります。

## ○アジア・エクイティ

米国の新政権による政策は不透明な状況が続いていますが、アジアの株式市場は景況感の改善や堅調に推移する資源・素材価格などに支えられる形で良好な相場環境を維持しています。米国の利上げ時期については定かではありませんが、利上げのペースは引き続き緩慢になるとみています。アジア各国はインフレ率が比較的低位に落ち着いており、緩和的な金融政策を維持するものと見られます。足元のアジア株式市場は過去の水準や先進国と比較して割安な状態にあると見ており、引き続き割安な銘柄を中心としたポートフォリオの構築を行って参ります。

## お知らせ

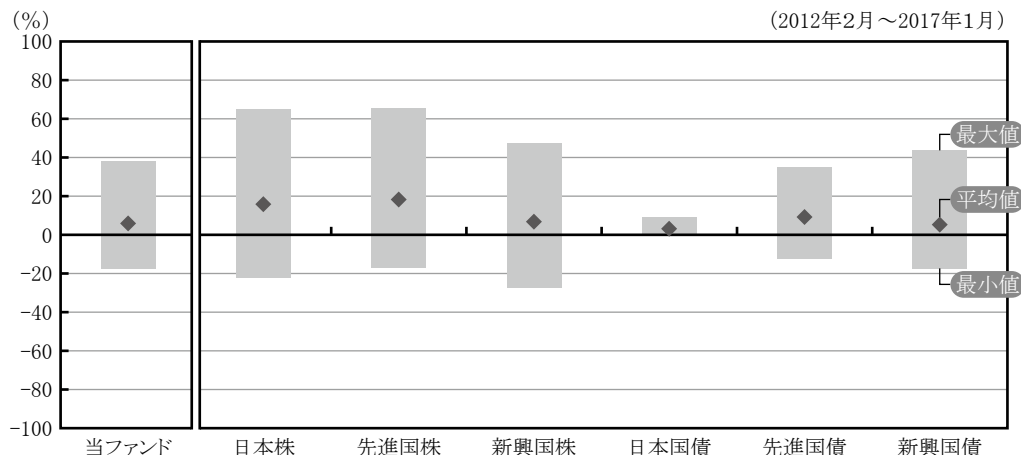
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	約10年間(2007年3月30日から2017年3月15日まで)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」の受益証券(振替受益権を含みませす。)を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への直接投資は行いません。</li></ul>
分配方針	原則として毎決算時(毎月15日(休業日の場合は翌営業日))に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、売買益等がある場合は、これを付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.8	15.8	18.2	6.8	3.1	9.2	5.3
最大値	38.2	65.0	65.6	47.3	9.3	34.9	43.7
最小値	-17.4	-22.0	-17.1	-27.5	0.5	-12.3	-17.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2012年2月から2017年1月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

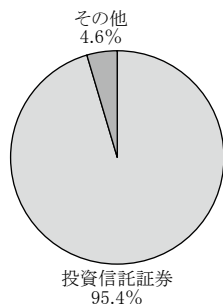
#### ○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

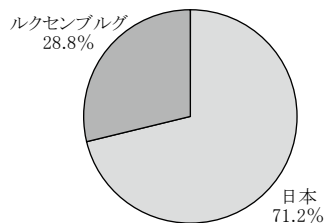
ファンド名	第118期末 2017年2月15日
イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)	66.6%
イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド クラスJ	28.8%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

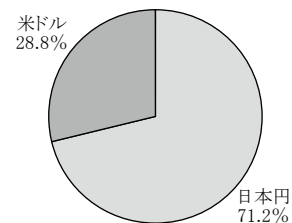
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第113期末 2016年9月15日	第114期末 2016年10月17日	第115期末 2016年11月15日	第116期末 2016年12月15日	第117期末 2017年1月16日	第118期末 2017年2月15日
純資産総額	214,925,357円	215,551,203円	209,047,308円	226,143,519円	216,741,317円	217,604,195円
受益権総口数	271,567,007口	271,457,058口	268,667,844口	267,768,453口	261,064,891口	256,269,311口
1万口当たり基準価額	7,914円	7,941円	7,781円	8,445円	8,302円	8,491円

\* 当作成期中(第113期～第118期)において追加設定元本額は769,407円、一部解約元本額は17,208,496円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

#### ○基準価額の推移

(2016年8月13日～2017年2月13日)



#### ○1万口当たりの費用明細

(2016年8月13日～2017年2月13日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	12円 (11) (0) (1)	0.153% (0.137) (0.005) (0.011)
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1) (その他)	14 (7) (4) (3) (0)	0.171 (0.083) (0.052) (0.037) (0.000)
合計	26	0.324

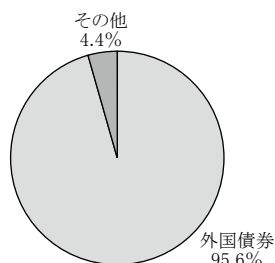
以下は、イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンドの内容です。

#### ○組入上位10銘柄(組入銘柄数:70銘柄)

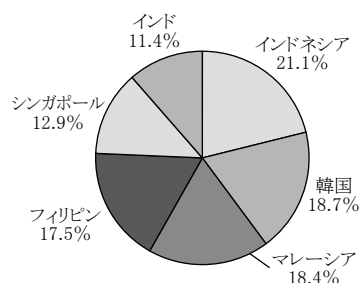
(2017年2月13日現在)

	銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
1	PHILIPPINE GOVT	国債	8.750%	2030/5/27	フィリピン	4.0%
2	INDIA GOVT	国債	8.300%	2040/7/2	インド	3.1%
3	PHILIPPINE GOVT	国債	4.125%	2024/8/20	フィリピン	2.9%
4	INDIA GOVT	国債	8.150%	2022/6/11	インド	2.8%
5	KOREA TREASURY	国債	4.250%	2021/6/10	韓国	2.5%
6	KOREA TREASURY	国債	5.750%	2018/9/10	韓国	2.4%
7	INDONESIA GOVT	国債	12.800%	2021/6/15	インドネシア	2.4%
8	KOREA TREASURY	国債	2.750%	2017/9/10	韓国	2.3%
9	MALAYSIA INVESTMENT	国債	4.492%	2020/4/30	マレーシア	2.0%
10	MALAYSIA INVESTMENT	国債	4.390%	2023/7/7	マレーシア	2.0%

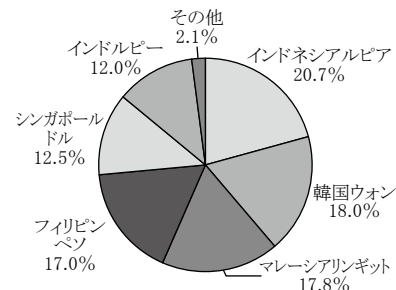
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 費用項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。「その他1」の項目は、キャピタルゲイン税です。

(注2) 費用項目の「その他費用」は、イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンドが支払った金額のうち、組入ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド クラスJ

#### ○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(2015年1月1日～2015年12月31日)

(※ドル)



#### ○1万口当たりの費用明細

(2015年1月1日～2015年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

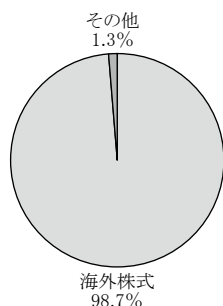
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンドの内容です。

#### ○組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 65銘柄)

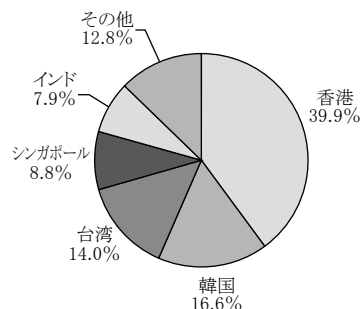
(2015年12月31日現在)

順位	銘柄名	業種	国・地域	比率
1	Samsung Electronics Co Ltd	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	6.2%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	半導体・半導体製造装置	台湾	5.8%
3	China Construction Bank	銀行	香港	4.2%
4	Tencent Holdings Ltd	ソフトウェア・サービス	香港	3.9%
5	China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	3.8%
6	Bank of China Ltd	銀行	香港	3.0%
7	HON HAI Precision Industry Co Ltd	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	台湾	2.9%
8	Hyundai Motor Co	自動車・自動車部品	韓国	2.8%
9	Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	2.3%
10	Wharf Holdings Ltd	不動産	香港	2.2%

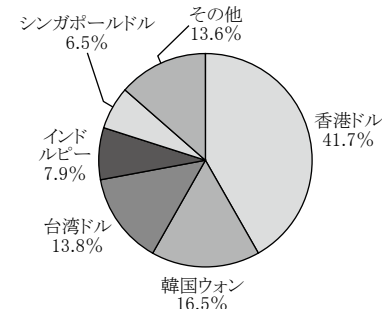
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。  
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。